

にこにこ通心



今日は12/28
年賀状買ってないところ
優先順位
まちがえてるせいで(笑)

僕がエンディングノートを書いた理由

これは5年前の妻の脳梗塞です。

手足に後遺症はなく会話も普通にできますが、少し思考力が低下したのです。

現在、仕事はせずに家のことと愛犬の世話をしてくれています。

我が家には子供がいないので、もし僕が先にこの世を去ることになってしまったらどうなるのだろう…

つまり、僕が書いたきっかけは、「自分の最期の希望を書き残す」というより「財産状況や加入している保険、住宅ローンはどうなるか？」などリアルに伝えておかないといけないことを書き記しておくためだったということです。

エンディングノートには「これまでの自分の人生を振り返る」箇所が数多くあります。

子供の頃の思い出、学生時代に打ち込んだこと、仕事を何に取り組んできたか…

妻・両親・姉弟・友人・恩師へ伝えたいこと…辛かったこと、嬉しかったこと…

まわりの人達に支えられて今の自分がある、という当たり前のことを思い出させてくれます。

そしてもうひとつ、エンディングノートを書くことは、これからの人生を考える、ということでもあります。

人生にはいつか終わりがある。そして、それがいつになるかは誰にも分からない、を改めて考えることに。

本当はやりたいのにならぬこと。そのうちお金が貯まったら…そのうち時間ができてから…

先延ばしにしたままだと、できないまま時間だけが過ぎていく可能性が…

僕は昨年、気がつけばいろんなことにチャレンジをしていました。

セミナー開催、通信を毎月書く、フルマラソン、剣岳登山、ギターを始める、妻・愛犬と伊豆旅行。

いつかは、と思っていたことをとっぴきやってみる。これもエンディングノートを書いた効果だと思えます。

そしてエンディングノートを書くことは、笑顔相続の観点から見てもとても意味のあることです。

「生前、自分が何を大切にしてきたか」「子供達に何を大切に生きていてほしいか」

財産をどうしてほしいか。その理由などを自由に書いておくことができます。

法的拘束力はありませんが、相続 = 想続。家族の心の中にいつまでも生き続けることでしょう。

最後に僕の持論をひとつ。エンディングノートはいつ書けばいいの？よく聞かれる質問です。

僕の答えは「今でしょ！」です。年齢は関係ありません。

まさに今、これまでの人生を振り返り、そしてこれからを考える。

最初から完璧に仕上げる必要はない。

書けるところからでいいと思います。

ぜひ書店でエンディングノートを手にとってみてください。

これからの人生を、よりあなたらしく生きるために。



The trial version converts only 1 page. Evaluation only.

Converted by First PDF.

(Licensed version doesn't display this notice and converts the whole PDF document!)

[Click to get the license for First PDF.](#)